

再評価結果(令和5年度)

担当課： 徳島県砂防・気候防災課

担当課長名： 森野 克也

事業の概要

事業名	地すべり対策事業	事業区分	地すべり対策事業	事業主体	徳島県
事業箇所	三好市西祖谷山村中尾	箇所名	中尾地すべり防止区域		
事業概要	地すべり防止施設(横ボーリング工、集水井工)				
事業の目的・必要性	中尾地区における地すべり対策事業は、地すべり防止施設の施工により、人家、道路、河川等への地すべり滑動による被害を除去・軽減する事を目的としている。当地区の保全人家は6戸で、地すべり滑動によって家屋施設の傾きや道路構造物の変状が生じていたことから、早期対策の必要があった。				
総事業費	510 百万円			進捗率	41%

位置図 計画概要図



位置図

中尾地すべり防止区域

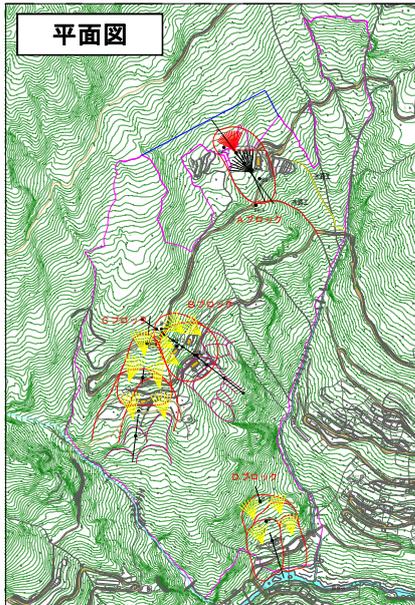
徳島県

三好市

西祖谷山村

中尾

平面図



①全景



②擁壁のクラック



③アンカー工



凡例

- 地すべり防止区域
- 地すべりブロック
- 保全人家
- 横ボーリング工
- 水路工
- 施工済み(R4まで)
- 施工予定(R5)
- 施工予定(R6以降)

事業評価結果

事業全体の投資効率性	基準年度	B/C	残事業B/C	総費用		総便益	
	令和5年度	1.1	1.9	5.3億円	用地費・工事費等	5.9億円	人家6戸、道路等
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・保全対象の人家6戸とその住民の人命と財産を保全する。(人的被害軽減効果・一般資産被害軽減効果) ・市道L=187m等の公共土木施設を保全する。(公共土木施設等被害軽減効果) ・家庭や地方公共団体による清掃や土砂撤去被害の軽減。(応急対策費軽減効果) ・森林の保全、ライフライン切断による波及被害の防止、生活用水の安定的な確保(B/C以外の効果)等 						
ソフト対策	土砂災害警戒区域に指定済み(H31.3)である。また、土砂災害に係るハザードマップが周知されており、警戒避難体制の整備に寄与している。						
社会経済情勢等の変化	地域の高齢化が進み、災害発生時には迅速な避難活動が困難であることから、区域全体の早急な対策工事の実施が必要な状況である。						
事業の進捗状況	区域内の4ブロックの内、現在は地すべり活動が活発なAブロックで対策を実施しており、今後は、他の3ブロックにおいても調査・観測により変位を確認しながら、効果的な対策工法を十分に検討し対策を進め、令和10年度概成を目指している。令和5年度の進捗率は事業費ベースで41%である。						
感度分析	感度分析の結果においても事業の効果は確保されている。 事業費+10%:1.1, 事業費-10%:1.2, 工期+10%:1.1, 工期-10%:1.1, 資産+10%:1.2, 資産-10%:1.0 残事業費+10%:1.7, 残事業費-10%:2.1, 残工期+10%:1.9, 残工期-10%:1.9, 残資産+10%:2.1, 残資産-10%:1.7						
事業進捗の見込み	地すべり変動が活発であることから効果的な対策を検討しながら、令和10年度の概成を目指して進める。						
対応方針(案)	継続						
対応方針理由	活発な地すべり変動が継続しているため、さらなる対策が必要である。地元からの要望が高く、事業に対し協力的であり、事業進捗が見込めることから総合的に判断した。						

※総費用、総便益は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

継続の理由

区域内の地すべり変動が活発であることに加え、想定される被害や社会的影響も大きい。また、上記事業評価の結果、費用対効果が1.0を上回っている。現時点で事業進捗率が41%であるため、引き続き、地域の人命・財産を保全するため、令和10年度の概成に向けて地すべり対策事業を継続する。